

令和6年度オンライン英会話実施業務公募型プロポーザル審査結果

評価項目	審査内容	配点	事業者1	事業者2	株式会社Glats
			採点	採点	採点
1. 受託業務に対する基本的な考え方及び企業評価	① 会社のコンセプト、業務内容等が、本市が求める業務の目的の達成に適しているか。 ② 小学生を対象に講師によるオンライン英会話を実施するにあたって受託業務に対する基本的な考え方、方針が明確であるか。 ③ 地方自治体や学校法人において、児童を対象としたオンライン英会話事業（自宅受講を含む）または、これに類似する事業実績が十分であるか。	10	8	8	8
2. 実施体制及び危機管理体制	① 事業施行にあたって十分な実施体制（専任担当者を中心とした全体管理、教材作成、オンライン英会話提供、現地オフィスの運営管理、通信ソフトの保守やトラブル対応など）を有しているか。（日本語で意思疎通を図ることができる現地従事者及びオンライン英会話を行う学校への派遣従事者の配置状況を含む。） ② 学校の時間割及び児童が自宅受講を希望する時間帯で、レッスン予約を確約できる体制があるか。 ③ 講師を含む従事者の欠員、システムの不具合等のトラブルに対する対応策、予防策等の十分な危機管理体制を有しているか。 ④ 通信ソフトの通信障害が発生した場合の原因究明の方法が示され、障害対応が的確かつ迅速に行われるか。また、原因究明により、本市のネットワーク環境による障害が想定される場合のサポート体制についても構築されているか。 ⑤ 学校からの実施要望、キャンセル等の計画変更要望に迅速かつ柔軟に対応できる体制を有しているか。※不可抗力の事由（天災・学級閉鎖等）、不可抗力外の事由（学校行事等）を想定 ⑥ 個人情報の保護について十分な配慮があり、社内規定等が整備されているか。 ⑦ 令和6年10月から、確実に業務を実施するために必要な体制が整っているか。また、契約事務の遂行が可能か。	25	21	21	22
3. 講師の確保及び指導力の担保	① 講師の採用基準や選定方法は的確か。 ② 講師の研修の履歴状況と研修計画が示され、十分に研修を受けた指導力のある講師の配置が可能か。 ③ 児童の習熟度に応じた対応及び特別支援学級の児童への対応は適切であるか。 ④ 日本文化に対する理解があり、児童と信頼関係を築くことのできる講師の配置が可能か。 ⑤ 講師の指導内容や方法の改善または講師の変更の要請に対し、適切かつ迅速な対応が可能か。	15	12	12	13
4. 提案内容の妥当性及び実現性	① オンライン英会話の実施方法（指導案やふり返しシート等の教材を含む）の提案は、児童が主体的に学び、英語によるコミュニケーション能力や学習意欲を向上させることができる内容となっているか。 ② 事業の円滑かつ効果的な実施に向けた教職員対象の研修内容は適切であるか。 ③ 通信ソフトの仕様（通信方法、インストール・アップデートなど保守管理の方法、操作方法、動作環境）は児童や教員にとって適切であるか。また、市販のソフトを使用する場合は通信ソフト名を記載し、自社開発のソフトを使用する場合は、仕様について、詳細に記載されているか。 ④ 事業実施評価の実施方法や報告内容が適切であるか。	35	29	29	31
5. 独自提案	① 本市の小学校において、オンライン英会話の活用を研究していくにあたり、事業者独自の提案がなされているか。 ② 独自の提案及び工夫に客観性・実効性・説得力があるか。	5	3	4	4
内容評価点（小計）		90	73	74	78
6. 見積金額	価格点=10点×（最低提案価格／提案価格） ※小数点以下は切り捨てとする。	10	9	10	9
合計		100	82	84	87
順位		—	3	2	1